

弘前市まちづくり 1% システム採択事業

弘前ねぶた囃子
青森ねぶた囃子
お山参詣 登山囃子
手摺り鉦
冬囃子 雪灯り
担ぎ桶太鼓
いっい音を出すテクニック

第3回 津軽 笛 博覧会

ギネス記録も持つ津軽の笛が大集合！
ワークショップとコンサートのコラボレーション！



と き：平成 27 年 9 月 27 日（日）
講座 10:30 ～ / お月見コンサート 18:00 ～

ところ：藤田記念庭園 / 弘前市立観光館

入園料：大人 310 円 / 子供 100 円（藤田記念庭園入園料として）

主 催：津軽笛地域づくり実行委員会

後 援：弘前市、五所川原市、平川市、弘前観光コンベンション協会、

東奥日報社、陸奥新報社、津軽新報社、

NHK 青森放送局、RAB 青森放送、ATV 青森テレビ、ABA 青森朝日放送、

エフエム青森、FM アップルウェーブ、邦楽ジャーナル、弘南鉄道、全日本郷土芸能協会、

岩木山観光協会、津軽藩ねぶた村、ねぶたの家ワ・ラッセ、星と森のロマンチックピア

お申込・お問合せ：津軽笛博覧会事務局 0172-33-9359（喫茶れもん）

または、津軽笛博覧会 Web サイト <http://tsugarubue.jp/event01/>

会場のご紹介

藤田記念庭園は日本商工会議所会頭も務めた実業家である藤田謙一が、1919 年（大正 8 年）に郷里である弘前市に別邸を構える際に東京から庭師を招いてつくらせた江戸風な景趣の庭園です。園内は、高さ 13m の崖地をはさんで高台部と低地部に分かれており、高台部は岩木山を借景した洋風庭園で、低地部は池泉回遊式の日本庭園となっています。総面積は約 21,800m² に及び、東北地方でも有数の大規模な庭園です。



津軽笛博覧会

平成27年9月27日（日）10：30～
藤田記念庭園 / 弘前市立観光館

青森わの會



ねぶた囃子の演奏を中心に活動する祭好団体。
青森ねぶた祭ではパナソニックねぶた会の囃子方を長年担当し、平成22年商工会議所会頭賞（総合4位）を獲得。
ねぶた囃子の他に、お山参詣第65回県下登山囃子奉納本大会では松組優勝と竹組準優勝の組を輩出。
また、活動の領域は祭囃子の演奏だけにとどまらず、青森市善知鳥神社神輿渡御や十和田市秋祭り中央町内会組神輿渡御にも毎年参加。

四代智大



幼少よりねぶた祭りに携わりつつ、登山囃子を覚え始める。
2008年、お山参詣登山囃子本大会において中田組メンバーとして松組へ昇格。その後指導にも力を入れ後継者育成に積極的な活動を行う。
2014年には、新囃子「雪灯り」の鉦パートの制作を担当し、賞賛を浴びる。

お山参詣 登山囃子 津軽笛の会 弘前ねぶた囃子・冬囃子「雪灯り」



「津軽笛」を軸に津軽の郷土芸能をより良い形で伝承、また創造して行こうという趣旨で2008年より活動を行っている団体。
2011年に3,742名の横笛合奏世界記録を樹立した「ねぶた囃子でギネスに挑戦」をはじめ、受講者が4,000人以上に及んだ「ねぶた笛出前講座」、次世代を担う高校生に海外で演奏するチャンスを提供し、グローバルな目線で津軽の文化を発信する土壌を作る「次世代育成プロジェクト」、今まで津軽には存在しなかった冬の囃子創作など津軽の郷土芸能振興に努める活動を継続的に行う。また、フラッシュモブのねぶた囃子版「ねぶた囃子で笛ッシュモブ」事業も展開、「世界一祭り囃子が似合う街津軽」体現へ向け、真剣・楽しく・シュールにをモットーに活動へ励む。

八幡崎獅子踊り保存会



津軽地方に伝承されている獅子は「鹿獅子」と「熊獅子」の二種類に大別されていて、八幡崎は熊獅子であるとされている。
演目は『山ぼめの段』の後半。
数々の困難を乗り越えて安住の地となる山を開拓した獅子達の中で、一匹の雌獅子をめぐって二匹の雄獅子が繰り広げる『雌獅子隠し』『大神楽』『雌獅子争い』の三場面。
中でも八幡崎独特の、二匹の雄獅子が連なって踊る大神楽で、踊り、囃子共に当会の演目の最高潮となる。

大川平荒馬保存会



大川平荒馬は青森県東津軽郡今別町大川平の伝統芸能です。
荒馬とは、昔のさなぶり行事で田植えが終わり、田の神が天に昇るとき、農民が神に加護と感謝ため催される神送りの行事として伝わってきたもので、今ではネプタと共に8月4日から7日まで跳ね伝えられています。大川平荒馬保存会が伝える荒馬の由来は古く、天正13年、大浦為信が津軽を統一して藩の経済を保つため、馬と農耕を結びつけ農作物の増収を図ったことが起因であるとされています。

前夜祭

林田ひろゆき氏 講演会 & レセプションパーティー
「世界にはばたく担ぎ桶太鼓。そのルーツは津軽にあった。」

日 時：9月26日（土）17:00～（16:30 受付開始）
会 場：星と森のロマンピア 森林科学館「ジプター」
内 容：第1部：林田ひろゆき氏 講演 & 演奏（45分）
第2部：対談 聞き手：邦楽ジャーナル編集長 田中隆文氏（30分）
パーティー：18:30～（会費1500円/人）

佐藤ぶん太、



9歳からお山参詣の登山囃子・下山囃子を学ぶため、古川栄悦氏・小野文男氏に師事。1993年、津軽の囃子大会の最高峰と言われる「お山参詣県下登山囃子競演本大会」で高校3年生で優勝。その後大会の最上位クラス松組で岩木山本大会6度の優勝を果たす。またJAZZピアニスト木住野佳子をはじめ、様々なジャンルの演奏家との共演も果たし、津軽の笛の潜在能力の高さを示す。2011年、津軽の笛の世界に発信すべく「ねぶた囃子でギネスに挑戦」を発案、実行委員長として携わり、3,742名でのねぶた祭り笛合奏に成功。見事「笛合同演奏者数世界一」のギネス記録を津軽一丸となって樹立する。現在、囃子の後継者育成に力を注ぐ傍ら、全国各地で公演も重ね、津軽の横笛文化の素晴らしさを伝承するために日々奔走する。

特別講座 林田ひろゆき



和太鼓奏者としてFIFAワールドカップ閉会式、ハノーバーEXPOに出演するなど、世界32ヶ国でワールドワイドに公演を行う。
圧倒的なテクニック・ダイナミクスと、個性的で魂とエネルギー溢れる奏法を武器とし、和太鼓アンサンブルを音楽的に作編曲・構成が出来る和太鼓界唯一の奏者。世界に日本の和太鼓の存在を大きく知らしめた『鼓童』のメンバーとして、1985年より7年間で800回を超える舞台で活躍し、その後、世界中の独自の個性や表現力を持った民族打楽器奏者が、様々な音楽の場で活躍している現在に於いて、個人より集団としての形式美や音量、音楽性よりパフォーマンス性の派手さを重視されがちな、現在の和太鼓のスタイルに疑問を持ち、「太鼓は音楽としても発展する必要がある」との考えから、音楽性や個性を重要視するソロ和太鼓奏者として活動を開始。

かつぎ桶太鼓

当日のスケジュールと内容

A会場（藤田記念庭園・和館）

10:30～12:00	●青森ねぶた囃子 ※青森ねぶたの笛が必要です。 演奏法についての紹介とレッスンを本場から講師を招き行います。
13:00～14:30	●冬囃子「雪灯り」 ※八本調子のドレミ笛が必要です。 祭囃子とは違った冬の囃子を作成いたしました。 紹介とレッスンを津軽笛の会が行います。
14:50～16:20	●手摺り鉦講座 ※手摺り鉦が必要です。 演奏法についての紹介とレッスンを特別講師を招き行います。

B会場（藤田記念庭園・茶室）

10:30～12:00	●初めての弘前ねぶた囃子 ※弘前ねぶたの笛を持参ください。 音が出ないという方から弘前ねぶた囃子を覚えていただくまで 津軽笛の会が懇切丁寧に教えます。
13:00～14:30	●お山参詣 登山囃子 ※登山囃子の笛が必要です。 演奏法についての紹介とレッスンを津軽笛の会が行います。
14:50～16:20	●いい音を出すテクニック 音の深みを出す方法、華やかさを出す方法など本来は門外不出の技術を学びます。

C会場（弘前市立観光館・多目的ホール）

10:30～12:00	●お山参詣 登山囃子 太鼓 演奏法についての紹介とレッスンを津軽笛の会が行います。
13:00～14:30 14:50～16:20	●特別講座 かつぎ桶太鼓ワークショップ ※かつぎ桶太鼓が必要です。 世界で活躍するかつぎ桶太鼓奏者である林田ひろゆき氏を講師に迎え、普段の祭囃子とは一味違った、かつぎ桶太鼓のテクニックを学びます。

ランチタイムコンサート（藤田記念庭園・洋館）

12:10～12:50	●若者達によるコンサート 次世代を担う若者達のさらなる進化を期待し、若者が出演するコンサートをランチタイムに開催いたします。オリジナル曲がメイン。
-------------	--

成果発表（庭園内フードコート）

17:00～17:40	受講者の皆様での大合奏 学んだ内容を、皆さんで演奏して楽しみましょう。
-------------	--

お月見コンサート（藤田記念庭園・和館）

18:00～19:30	●講師陣やゲスト、受講者の皆様によるコンサート 青森ねぶた・獅子踊り・荒馬・冬囃子「雪灯り」・弘前ねぶた・林田ひろゆき氏 登山囃子大合奏
-------------	---